

とっとり産業フェスティバル2009 ポスター発表要旨

テーマ	鳥取県の高等学校における「TEAS」の実態調査		
発表者	中村 貴志 鳥取環境大学 建築・環境デザイン学科 教授		
概要	<p>研究の目的は下記のとおりです。 県内の高等学校で、 TEAS の実態を具体的に調査し、関連の活動をいっそう充実させる。 TEAS へ未登録の組織に対しては、認証取得の活動を実質的に支援する。</p> <p>今回の調査では、県内すべての高校（31校）に対して数回の詳しいアンケートを実施し、研究の目的をほぼ完全に達成できました。</p> <p>アンケート（A票～D票）や現地調査の基礎資料は1000頁を超えましたが、関連の記録を抜粋して発表のポスターに掲載します。</p>		
研究の実績	<p>研究の目的 については、1校を除く高等学校を幾度か訪問して、実態調査の資料を確実に蓄積できました。この1校を訪問できなかったのは、アンケートA票の質問で「訪問の可否」を尋ねたところ、「訪問不可」の回答を頂いたからです。</p> <p>研究の目的 については、合計4校について認証の登録を支援しました。また、5校の登録計画を促進し、認証の準備に貢献できました。他の21校についても、TEASの規格を詳しく説明して理解を深めて頂きました。この研究は、TEAS の審査に際しても実質的な効果を発揮できました。</p> <p>しかし、研究の計画書に記した「公開のシンポジウム」は、実現できませんでした。その理由は、日程の調整が困難だったこと、また、一部の組織が公開の会議に難色を示されたことによります。</p> <p>そこで、この「シンポジウム」を《紙上シンポジウム》に読み替え、現地調査などで明らかになった種々の問題点を具体的に解明することにしました。その詳細は、別紙の研究報告書に記載してあります。</p> <p>この研究を通じて、教育現場の率直な感想も収集できましたが、そこには、行政の関係者には必ずしも正確に伝えられていないような意見や批判なども含まれています。</p> <p>なお、この研究に関連して、高校生の保護者や小中学校の校長先生などにも面会し、約200件の記録を蓄積できました。その資料も、匿名の形で研究報告書に記載してあります。</p>		
研究の活用	<p>この研究の成果は、たとえば次のような政策にも活用できます。</p> <p>未登録の高等学校について、TEAS の認証取得を確実に促進する。 この研究で明確になった問題を、TEAS の規格やその文章表現の改善に利用する。 この研究の延長上で、小中学校などの組織について、TEAS の啓発や普及を図る。</p>		
【来場者へのメッセージ】	<p>想定される利用分野は、環境・教育・社会・生活の全般に及びます。</p> <p>この研究が、「環境立県」を目指す鳥取県の政策に貢献できれば幸いです。</p>		
連絡先:	鳥取環境大学 環境・デザイン学科 教授 中村 貴志 鳥取市若葉台北1-1-1 TEL.0857-38-6781 E-mail: u-nak@kankyo-u.ac.jp		
分野	環境・教育・社会・生活	プレゼンタイム	無